

2021年度
(令和3年度)

事業計画書

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月 31日

2021年2月26日

東京都品川区大崎一丁目2番2号
アートビレッジ大崎セントラルタワー
公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団

2021年度事業計画書
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

医工計測技術分野における先導的技術開発、技術の交流等を促進し、また人材を育成することによって、医工計測技術の広汎な発展を推進し、我が国ならびに国際社会の発展及び生活の向上に寄与することを目的とし、次の事業を行うこととする。

【1】医工計測技術分野における技術開発に対する助成

医工計測技術分野における先導的技術開発活動を促進するため、これに助成を行う。

【研究開発】

医工計測及び関連技術の研究に対して、公募によって申請のあった研究について、必要資金の全部または一部を助成する。

開発研究助成：最大 500 万円/件 (助成予定件数 20 件程度)

奨励研究助成：最大 400 万円/件 (助成予定件数 30 件程度)

注) 奨励研究助成に関しては、応募可能年齢を 40 才未満、1 または 2 年間の助成とし、1 年間の助成額を最大 200 万円、2 年間で最大 400 万円とする。

【特別研究】

医工計測技術分野において基盤となる開発研究を一層発展させることにより、卓越した成果が期待でき、かつ実用化が見込まれる研究成果の創出に資する研究に対して助成する。

特別研究助成：2 年間で最大 3,000 万円 (※初年度最大 2,000 万円可)
(助成予定件数 3 件程度)

【長期大型研究】

医工計測技術分野のさらなる発展のため、国内外の研究人材交流による先進的な研究や既存の枠を超えた融合的な研究により将来的に新しい技術や学術・応用分野を切り開くための基盤を生み出すと同時に、次代を担うグローバルに活躍できる若手研究者の育成に資する長期の大型研究に対して助成する。

長期大型研究助成：最大 6,000 万円/年 (最長 5 年間)
(累計助成金額 3 億円)
(助成予定件数 1 件)

【2】医工計測技術分野における技術開発に顕著な業績をあげた研究者の表彰

医工計測技術分野における技術開発の飛躍的な発展を期して、顕著な業績をあげた研究者の表彰を行う。

【中谷賞】

医工計測及び関連技術の研究に対して、公募により推薦のあった研究者を中谷賞として表彰する。

大賞	: 1 件 1,000 万円 (表彰者数 1 名)
奨励賞	: 1 件 300 万円 (表彰者数 2 名)

【新規表彰プログラムの企画】

財団設立 40 周年を記念して、医工計測及び関連技術に顕著な業績をあげた国際的研究者（国籍を問わない）を表彰するプログラムを企画する為の調査・準備を行う。

【3】医工計測技術分野における技術交流に関する助成

医工計測技術分野における技術の交流を促進するため、内外の研究者の交流に対し助成する。

【交流プログラム】

医工計測技術分野の技術交流に関し、公募によって申請のあった対象者について、必要資金の全部または一部を助成する。

海外派遣	: 1 件最大 40 万円
日本招聘	: 1 件につき最大 3 名を招聘 招聘者 1 名につき最大 50 万円
日本招聘特別プログラム*	: 1 件最大 300 万円

※) 日本招聘特別プログラムに関しては海外の著名な研究者を招聘し、医工計測技術分野および関連周辺技術分野における高度な技術交流に関し、公募のあった対象者について必要資金の全部または一部を助成する。ただし、50 名以上の聴衆を集めた講演会・技術交流会の開催を条件とする

【留学プログラム】

海外の大学や研究機関に私費で留学する者ならびに海外から日本の大学や研究機関に私費で留学する者に対し、渡航費と滞在費の全部または一部を助成する。

海外留学

長期海外留学 : 25万円/月（1年以上最長3年間）
渡航費 1件あたり 最大 30万円
採択予定者数 8名程度
注記) 留学先から外部資金の必要額が示され、25万円/月で充当できない場合は、総額費用も含め審査の上、増額して助成する場合がある。

短期海外留学 : 25万円/月（1ヶ月以上1年未満）
渡航費 1件あたり 最大 30万円
採択予定者数 8名程度

日本留学

日本留学 : 20万円/月（1年以上最長2年間）
採択予定者数 4名

【4】 医工計測技術分野における技術動向等の調査研究に対する助成

医工計測技術分野における技術の発展を促進するため、技術動向等に関する調査研究に対して、必要資金の全部または一部を助成する。もしくは、財団として将来重要と思われる技術テーマの調査事業を公募、又は委任する形で調査研究を行う。

調査研究助成：1件 最大 300万円
(助成予定期数 5件)

【5】 医工計測技術に関する情報の収集及び提供

医工計測技術に関する情報文献、資料等を収集整理し、その広範な利用を図るための活動を行う。

- ・医工計測技術関連の情報については広範な利用を図るため、当財団の研究助成事業、表彰事業、技術交流助成事業、調査研究事業等、財団の事業活動を取りまとめて「年報35号」を作成し、広く関係機関に無償提供する。
- ・当財団の研究助成事業、表彰事業、技術交流助成事業、調査研究事業等、財団の事業活動等で得られた医工計測技術の情報をHPのアーカイブで公開し、広く情報提供を行う。
- ・グローバルな活動を行っている他財団の組織、活動方法、活動計画等を調査し、中谷財団の将来の活動戦略を構築するための一助とする。
- ・財団の創設40周年を記念して、これまでの活動や助成の成果をとりまとめた「中

谷医工計測技術振興財団「40周年記念誌（仮題）」の編集に向けた準備作業を行う。

【6】科学教育振興に対する助成

【6.1】科学技術者の裾野拡大を目的として、小学、中学、高校等の教育における科学振興のため、公募によって申請のあった対象先の教育機関等に対して、必要資金の全部または一部を助成する。

【個別助成】

小学・中学・高校等教育機関 : 1件最大30万円
(助成予定件数 60件)

【プログラム助成】

複数の学校等の教育機関や研究機関 : 1件最大100万円/年 (2年間を限度)
(助成予定件数 1年目 17件)
(助成予定件数 2年目 16件)

【意欲的な小学校の先生方を支援するプログラム助成】

複数の学校等の教育機関や研究機関 : 1件最大100万円/年 (3年間を限度)
(助成予定件数 1年目 4件)
(助成予定件数 2年目 7件)
(助成予定件数 3年目 8件)

注記: 科学教育振興助成の上記3つの助成は、2月末の理事会で令和3年度の助成校が承認されるので、具体的な数字を予定校数として記載している。

【6.2】日本の大学生（理系学部生）が海外の研究室で最先端の研究に触れる機会を提供するとともに、海外の大学生（理系学部生等）を日本の研究室に滞在させて相互に交流する機会を提供し、将来グローバルに活躍する研究者を育成するため、公募によって申請のあった申請者（学生）に対して、渡航費・滞在費等の諸経費の全部または一部を助成する。また、国際学生交流プログラムの参加者で特に優秀と認められた日本学生若干名を、財団が選択した世界の著名大学・研究所の研究者の下にリサーチインターンシップとして派遣し、この学生に対して、渡航費・滞在費等の諸費用の全部または一部を助成する。

【国際学生交流プログラム助成】（中谷 RIES プログラム）

中谷医工計測技術振興財団とジョージア工科大学が協力して構築するリサーチ

インターンシッププログラムならびに交流プログラムに則り日米の学部学生を交換留学させる。

2020年度選考された学部学生（日本学生：12名、USA学生6名）のうち、2021年夏に参加可能な学生（日本学生：約8名、USA学生：6名）と2021年度に選考された日米の学部学生（予定：日本学生12名、米国学生6名）の交換留学に必要となる渡航費・滞在費等の諸経費の全部または一部を助成する

【国際学生交流プログラム助成】（アドバンストプログラム）

国際学生交流プログラムの参加者で特に優秀と認められた日本学生若干名を選考し、下記に記載する著名大学・研究所の研究室にリサーチインターンシップとして留学させる。

選考された日本の学生（予定：5名程度）の留学に必要となる渡航費・滞在費等の諸経費の全部または一部を助成する

派遣大学・研究所（研究分野）

Harvard University (Physics)

Georgia Institute of Technology (Biomedical Engineering)

Emory University (Neurology)

University of California, Davis (Biomedical Engineering)

Heidelberg University (Biomedical Engineering)（予定）

German Research Center for Artificial Intelligence (AI)（予定）

【7】奨学金の給付

医工計測技術分野および関連技術分野の博士号取得を目指す博士前期課程・博士後期課程の学生への支援を通じて、将来研究者として活躍できる優秀な人材を育成することを目的とした奨学金を給付する。民間財団からの奨学金の併給は不可であるが、公的奨学金は併給可能。

【大学院生奨学金給付】

返済不要の給付型奨学金を博士号取得までの最短期間給付する

大学院博士前期課程学生 10万円/月

大学院博士後期課程学生 15万円/月

（新規採択予定者 前期・後期課程学生 合計 10名程度）

以上